

非木造建築物編

発刊にあたって、
 本手引きの利用にあたって
 「工種別の確認ポイントの
 例示」の考え方

I 章 はじめに

1. 「工事監理ガイドライン」について
2. 工事監理と監理業務の法的責任等について
3. 本手引きの活用の留意点等について
4. 用語の定義

二、

1-1 工事全般について

「サ」 卒子引の「工恒 別の確認のポイント

2. 工種別の確認のポイントについて
- 2-1 建築工事
1. 一般共通事項
 2. 仮設工事
 3. 土工事
 4. 地業工事
 5. 鉄筋工事
 6. コンクリート工事

參考資料

1. 工事監理ガイドライン
1-2 基礎〜工事における工事監理ガイドライン
- 1-3 木造の屋外階段等での防雨措置等ガイドライン
2. 木造の屋外階段等
3. 平成31年国土交通省告示第98号（抜粋）
○工事監理ガイドラインの適正活用検討研究会
委員名簿
○発刊に当たっての協力者一覧

おわりに

「工事監理ガイドライン」
の今後の活用等に向けて

●内容を一部変更することがありますので、ご了承ください。

戶建木造住宅編

発刊にあたって
 本手引きの利用にあたって
 「工種別の確認ポイントの
 例示」の考え方

I 章 はじめに

1. 「工事監理ガイドライン」について
2. 工事監理と監理業務の法的責任等について
3. 本手引きの活用の留意点等について
4. 用語の定義

第二章 工程監理

1. 確認方法のポイント解説

トの例示の利用

2. 工種別の確認のポイントの例示
- 戸建木造住宅工事
1. 一般共通事項
 2. 仮設工事
 3. 土工事・地業工事
 4. 基礎工事（直接基礎・杭基礎）
 5. 木工事一般事項及び木造躯体工事

熱工事

- 工事
・軒裏工事
工事
・外装工事
・見まわり工事
・変圧工事
・排水設備工事
・ガス
・器具設置工事
・配管工事
・主設備工事・
工事

参考情報

受共通事項
受工事

楚工事(直接 楚·杭基礎)

5. 木工事・一般事項
ひも造解体工事
6. 屋根工事
7. 断熱工事
8. 防水工事
9. 造作工事
10. 外壁・軒裏工事
11. 左官工事
12. 内外装工事
13. 建具・まわり工事
14. 塗装工事
15. 給排水設備工事
16. ガス設備・ガス機器等設置工事
17. 電気工事
18. 衛生設備工事・雑
工事

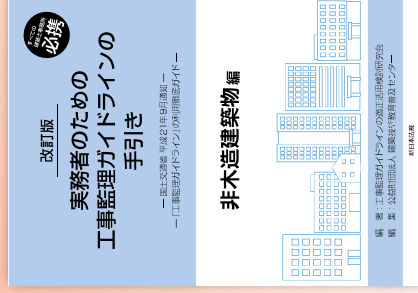
参考资料

1. 工事監理ガイドライン
1-2 基礎ぐい工事における工事監理ガイ
ドライン
- 1-3 木造の屋外階段等
の防雨措置等ガイ
ドライン
2. 木造の屋外階段等
3. 平成31年度国土交通省
第98号（抜粋）

おわりに

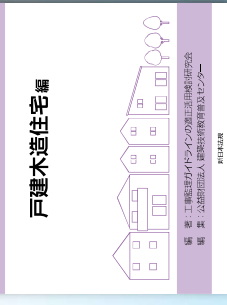
「工事監理ガイドライン」の今後の活用等に向けて

●内容を一部変更することがありますので、ご了承ください。



非木造建築物編

A判・総頁752頁
定価 6,930円(本体6,300円)
送料570円
ISBN978-4-7882-9213-0



戸建木造住宅編

A4判・総頁322頁
定価 4,950円(本体4,500円)
送料570円
ISBN978-4-7882-9214-7

 **0120-089-339** (通話料無料)
受付時間 9:00~16:30 (土・日・祝日を除く)

WEBサイト <https://www.sn-hoki.co.jp/>
E-mail eigyo@sn-hoki.co.jp

新日本法規出版

新日本法規出版

新日本法規出版

新日本法規出版

組見本

(A4判縮小)

書等に含まれる。)に示される支持地盤の土質名及びその土質標本と合致していることを目的にて確認します(写真③)。また、その際にクレーナーの据れや配重坑等も参考にします。なお、土質標本との比較の際は、土の盛り程度により色や硬さと異なることがあるので注意が必要です。

また、掘削後、検方テープにより確認します(写真4・5)。支持地盤への掘入が深ざった



写真1 クレーナーの核心セッ

1-4 本手引きの「工種別の確認のポイント」の例示の利用について

工事監理者は「工事監理ガイドライン」における「確認項目及び確認方法の例示一覧」(以下「例示一覧」という。)を参照することで、さまざまな工種ごとに自ら合理的と考える照合・確認の項目や方法等を選択する際の目安、直接の選択肢として活用することができます。各々の工種ごとの工事監理の「対象」や「範囲」は、例示一覧の最上段にある「**工事内容**」及び「**工事監理者の確認内容**」の欄から、それぞれに例示された選択肢を参照します。

まず「工事内容」の項目としては「材料」「設備工事では「機械」)、「施工」(加えて「試験」が含まれる工種もあります。)、 「工事監理者の確認内容」については当該「確認項目」及び「具体的な確認方法」欄を参照します。)、実施する工事監理の範囲、方法等の例示(選択肢)の中から、工事監理者が最も合理的と判断する範囲や方法を選択することできます。

この「工事監理ガイドライン」の例示一覧に沿った以下の「工種別の確認のポイント」の例示の章が、本手引きのまさに中心部分となります。

2. 工種別の確認のポイントの例示

2-1 建築工事

7. 鉄骨工事

工事内容		工事監理者の確認内容	
項目	確認項目	具体的な確認方法	
7.1 材料	(1) 鉄骨 ※P138	● 鋼材(規格・材質・種類・断面寸法・品質証明) ● 鋼力ボルト・普通ボルト、アンカーボルト(規格・種類・寸法・ねじ形状) ● 鋼付スタップ(規格・種類・寸法) ● 溶接材料(鋼材の組合せ適合・保管) ● アークシールド ● 錆止め塗料	● 目視に係る立会い確認 ● 自主検査記録・材料搬入報告書・材料の認定書・工事写真等に係る書類確認
	(2) 耐火被覆 ※P144	● 吹付け工法* ● 耐火板張り ● 耐火材巻付け	● 目視に係る立会い確認 ● 自主検査記録・材料搬入報告書・材料の認定書・工事写真等に係る書類確認
7.2 施工	(1) 資格 ※P145	● 溶接施工管理技術者、溶接技能者 ● 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合の施工管理技術者、鋼付け技能者 ● 専門検査会社の非破壊試験検査技術者、建築設備検査設備検査技術者	● 目視に係る立会い確認 ● 自主検査記録・資格証明書等に係る書類確認
	(2) 製作 ※P146	● 製品 ● 形状、寸法、ボルト孔の径、スリーブ、開口部の補強 ● 溶接状態 ● 溶接部(まくれ・ひずみ・へこみ・錆の付着) ● フタクトに溶接* (径・本数・配置) ● 錆止め塗料	● 目視に係る立会い確認 ● 計測に係る立会い確認 ● 自主検査記録・製品確認記録・工事写真等に係る書類確認
7.2 施工	(3) 溶接接合 ※P149	● 溶接作業条件(作業場所の気温・湿度・降雪・風) ● 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ	● 目視に係る立会い確認 ● 計測に係る立会い確認 ● 自主検査記録・測定記録・施工記録・

2. 工種別の確認のポイントの例示

2-1 建築工事 / 7. 鉄骨工事

写真4

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ

写真4 溶接機手前(開閉・急停止・ダイヤフ